ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成30（2018）年
１１月３日発行
第２３号

夢のふくらむ学校

ＬＩ校　緊張の音読発表会





補習校では、国語及び算数・数学を中心にして授業を行っています。2020年に完全実施となる新学習指導要領の移行措置も取り入れながら、「思考力・判断力・表現力」の育成を目指した授業づくりのために、研修を重ねているところです。授業では、座学に終始せず、ペア学習、グループ学習・話し合いや掲示物の作製等子どもたちが自ら活動する授業形態を積極的に取り入れる一方、皆の前で発表し、自分の意見を述べたり説明したりする場の設定も欠かせません。特に、日本語に自信のない子どもの場合、声も小さくなり、どうしても授業に対して消極的になりがちです。何とか自信を持って元気いっぱいに発表できるよう、先生方は様々に知恵を絞っています。

ＬＩ校では、後期に入って、朝会でクラスごとの音読発表会を行っています。国語の教材を基に、学級全員で発表します。子どもたちは、自分の受け持ちの部分を一生懸命暗記してきます。家でも、家族を前に何回も練習したことでしょう。そして当日、大勢の児童や保護者の前でステージに立つと、ものすごい緊張感を感じることでしょう。ＬＩ校の広いオーディトリアムのステージで、音響設備の助けを借りることなく、自分たちの声で堂々と順番に発表していきます。ステージから降りた子どもたちは、一様にホッとした表情で一つのことをやり遂げた充実感でいっぱいです。もちろん、個々には、途中で詰まったり、声が小さかったりという反省もあったと聞いていますが、一つ一つのステップを踏んで、日本語に対する自信を深めてほしいと思います。

Ｗ校　楽しいお店屋さんとお買い物





アメリカでは、子どもが一人で商店に買い物に行ったり、公共交通機関を利用することはありません。「初めてのお使い」のようなＴＶ番組が成り立つ日本とは違います。そこで、補習校では、学校行事や授業の一環としての「お買い物体験」ができる場を設けています。W校幼児部では、「お買い物」屋さんごっこや中高等部生徒会主催主催の「のみの市」で、子どもたちが実際に買い物体験できる場を設けています。日本とアメリカでは、おつりの渡し方が違うのですが、皆戸惑いはないでしょうか。そのドキドキも、一つの貴重な体験ですね。

このような生活体験は、子どもの日常生活においても大変重要だと考えられています。できれば、日系の食料品店や飲食店などで買い物や支払いなどの体験ができればよいですね。日本に一時帰国したときなどは、できるだけそういった機会をもちたいものです。

本日、W校では、保護者会主催「第２回古本セール」が開催されます。前回に引き続き、盛況が予想されます。お小遣いをしっかり握りしめて、真剣なまなざしで品定めをする子どもたちの姿が目に浮かびます。